



2021年2月16日 No.5  
全日本建設交運一般労働組合 中央本部

## 建交労

2021年春闘・月間推進ニュース

# 2.15 ディーセントワーク宣伝行動 官民共同で2021年春闘決起へ

全労連は2月15日（月）午後6時からJR新宿駅西口にて、ディーセントワーク行動にとりくみ、建交労からも中央本部役職員が参加しました。

行動には全労連内の「公務部会、民間部会」が共同して結集する単産組織の各代表が2度目の緊急事態宣言が発令されるもとの、2021年春闘に向けた決起と最賃引上げ、コロナ危機で苦しむ労働者の仕事確保・生活改善を求めるとりくみを訴えました。建交労からは鈴木正明書記次長がトラックドライバーの長時間労働の実態と運送業界をめぐるコロナ禍での要求・課題について発言し、2021年春闘を闘う意義と決意を述べました。

医労連の仲間からは、コロナ禍で苦闘し続ける看護師の実態アンケートが紹介され、離職を求める声が多数を占めていることが明らかにされました。公務関係では、コロナ禍でも国や自治体労働者が適正な人員配置が保障されないもとの、非正規の職員含めて奮闘していることを紹介し、賃上げ・待遇改善の必要性を訴えました。



21春闘を都民にアピールする鈴木書記次長

## 3.10-11 全労連 50万人大行動

### スト配置、職場決議、街頭宣伝の実施を

全労連は、21春闘を押し上げるとりくみとして3.10-11全国統一行動を設定し、スト配置や職場集会・決議や地域での街頭宣伝などの実施を呼びかけています。

建交労では、テッシュ付きチラシの作成や宣伝カー用の音出しスポット（データ）を各組織に送付しました。感染防止を徹底しながら、賃上げや雇用の確保を求める労働組合運動を職場・地域でアピールしましょう。さらに政府や大企業を国民世論で包囲するためにも、各県労連や地域労連の集会・パレードに結集しましょう。とりくみの報告については別紙の通り、3月末までに送って下さい。

2021年賃上げ回答状況（県別） 2021年2月16日現在

地本名	交渉単位数	要求提出数	要求提出率 (%)	要求額 (円)	回答数	月給				
						回答額 (円)	前年比 (円)	妥結数	妥結額 (円)	前年比 (円)
JR	7	0	0.0		0			0		
北海道	21	0	0.0		0			0		
青森	4	0	0.0		0			0		
岩手	2	0	0.0		0			0		
宮城	1	0	0.0		0			0		
秋田	3	0	0.0		0			0		
山形	1	0	0.0		0			0		
福島	2	0	0.0		0			0		
茨城	3	0	0.0		0			0		
栃木	2	0	0.0					0		
群馬	4	0	0.0		0			0		
埼玉	8	0	0.0		0			0		
千葉	1	0	0.0		0			0		
東京	30	2	6.7	44,000	0			0		
神奈川	13	0	0.0		0			0		
新潟	4	0	0.0		0			0		
富山	2	0	0.0		0			0		
石川	0	0			0			0		
福井	0	0			0			0		
山梨	1	0	0.0		0			0		
長野	1	0	0.0		0			0		
岐阜	5	0	0.0		0			0		
静岡	12	3	25.0	51,000	0			0		
愛知	70	1	1.4	44,000	0			0		
三重	3	0	0.0		0			0		
滋賀	6	5	83.3	44,000	0			0		
京都	34	6	17.6	44,000	0			0		
大阪	39	7	17.9	44,000	0			0		
兵庫	52	32	61.5	40,250	1	1,300	540	0		
奈良	0	0			0			0		
和歌山	8	0	0.0		0			0		
鳥取	2	0	0.0		0			0		
島根	0	0			0			0		
岡山	0	0			0			0		
広島	5	0	0.0		0			0		
山口	0	0			0			0		
徳島	6	0	0.0		0			0		
香川	0	0			0			0		
愛媛	0	0			0			0		
高知	1	0	0.0		0			0		
福岡	10	10	100.0	55,023	0			0		
佐賀	3	0	0.0		0			0		
長崎	1	0	0.0		0			0		
熊本	7	0	0.0		0			0		
大分	4	0	0.0		0			0		
宮崎	0	0			0			0		
鹿児島	1	0	0.0		0			0		
沖縄	2	0	0.0		0			0		
全国平均	381	66	17.3	44,003	1	1,300	-2,293	0		

2021 年 2 月 16 日

建交労各都道府県本部委員長 殿

全日本建設交運一般労働組合〔建交労〕

中央執行委員長 角田 季代子

## 「3月10日—11日50万人大行動」

### とりくみと報告について

2021 春闘に向けた奮闘に敬意を表します。

2月10日にいっせい要求提出日を経て、3月から団交及び回答引き出しのとりくみが集中します。コロナ禍ではありますが、各地（県・地方労連および春闘共闘）では国民春闘を位置づけて、世論を喚起する為の様々な行動やストライキなどがとりくまれます。つきましては3月10日（水）と11日（木）にとりくみの設定や参加した行動、また春闘チラシや宣伝カー・音出し等について報告を求めますので、ご協力ください。

#### 1. 報告用紙 別紙に記入してください。

とりくみの模様を伝える写真などもデータで送ってください。

締切日を待たずにどんどん送ってください。

#### 2. 職場決議の実施

\* 抗議文書は支部・分会・班からの集約をお願いします。

#### 3. 春闘チラシ及び宣伝カー運行について（音出し宣伝）

音声データは別途送付（メールもしくは CD）

※CD-R・テープが必要な組織は別途連絡をお願いします。

#### 4. 報告の送付先

FAX 03-3360-8389

Eメール [hirose@kenkourou.or.jp](mailto:hirose@kenkourou.or.jp)

★報告締切日 2021年 3月31日（水）まで

以 上

3.10-11 全労連50万人行動  
春闘チラシ等の活用報告用紙

県本部もしくは支部名 \_\_\_\_\_ 報告者 \_\_\_\_\_ 月 日

実施日に○をしてください  
(両日予定している組織は  
実施日ごとに提出して下さい)

3月10日      3月11日

行動内容に○をしてください。複数可

- 1 ストライキ 団体交渉 決起集会 宣伝行動 組織オルグ  
職場激励 経営訪問 業界団体懇談 労働相談 健康相談  
税金相談 学習会 腕章・ワッペン着用

パレード その他 ( \_\_\_\_\_ )

2 行動への参加人数 (                      )

3 職場決議の数 (                      )

4 春闘チラシ及び宣伝カーの活用について該当項目に記入をして下さい。

街頭・駅頭宣伝等で配布活動を実施した(実施日                      )  
これから(計画予定日                      )

宣伝カーの運行音出し活用について(週                      日程度運行)

(今後の運行等の予定あれば記入して下さい)

### 3・11 職場集会決議（モデル案）

本日、私たちは、大幅賃上げなどを求めて、3・11 全国統一行動に決起しました。

昨年からコロナ禍が続く下で日本経済の停滞が深刻化し、中小零細企業の破倒産が続出し、コロナ関連の解雇・雇止めが8万人以上となっています。しかし、大企業各社はアベノミクスや優遇税制の継続による支援や恩恵を受けながら、テレワークやリモートワークなど、様々な経営の合理化を駆使して業績を回復させて莫大な利益を上げ、内部留保金をさらに積み増ししていながら、経団連の経労委報告ではコロナ禍による経営不安を強調して、賃上げを否定する論陣を張っています。

政府が発表する GDP・国内総生産は落ち込みを続けており、労働者・国民の所得を引き上げ、個人消費を温め、内需を拡大することが日本経済を改善する唯一の道であることが誰の目にも明らかです。大幅賃上げで、安心して働き続けられる労働条件の実現を求めて、ねばり強く春闘をたたかきましょう。地域に足を踏み出し、最低賃金の引き上げ、中小企業支援の強化など、地域の活性化を求める共同を広げましょう。

菅政権は、財界・大企業と一体化して、裁量労働制の拡大やテレワークなど柔軟な働き方と称して労働法制の改悪を狙っています。さらに副業・兼業を促進し、時間外労働の割増賃金の支払いをなくそうしています。さらに経団連は、最低賃金の引き上げについて、昨年はコロナ禍で中小経営の不信をタテにして据え置きましたが、さらに賃金の引き上げ全体について「政府主導ではなく、自社の支払い能力にもとづいた適正な賃上げの実施」を展開し、国民世論をけん制しています。

21 春闘では、コロナ禍を乗り越えるために感染防止対策の徹底と共に労働者の仕事と生活を守るとりくみが求められています。活動・経営自粛に対する補償の拡充措置や医療機関への損失補てんと従事者への待遇改善措置を実現させるためにも、財界・大企業に対して「内部留保金の取り崩し」「優遇税制の見直し・社会保険料の応能」を実施させるよう国民世論で政府を包囲しましょう。その為にも労働組合の役割を発揮し、経済闘争を推進することが求められています。

すべての組合員の力を寄せ合い、職場・地域での奮闘を起点として 2021 年国民春闘を展開していきましょう。

2021 年 3 月 11 日

〇〇〇〇労働組合・〇〇職場集会